

2024年4月18日
公益財団法人イオン環境財団

4月22日（月）「九十九里イオンの森隣接地ビーチクリーン」を実施 ～アースデイ（地球の日）に地球環境について考えよう～

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役 代表執行役会長以下当財団）は、4月22日（月）、千葉県山武市の九十九里海岸（イオンの森隣接地）にて、「九十九里イオンの森隣接地ビーチクリーン」として清掃活動を実施します。

千葉県九十九里浜地区の海岸県有保安林は、松くい虫被害や湿地化により疎林化が進み、また東日本大震災では、津波被害も受けています。当財団は、海岸防災林再生を目的に千葉県と「法人の森事業協定」を締結し、当地区を「九十九里イオンの森」として、2019年から2022年までに、1,200名のボランティアの皆さまと17,000本の植樹を実施しています。4月22日アースデイ（地球の日）※1に「九十九里イオンの森」に隣接するビーチクリーンを行い、人間の営みが地球環境に与える影響と保全の重要性を捉える機会とすることを目的としています。

また、千葉県150周年の関連行事として、山武市では4月27日（土）より「百年後芸術祭」が実施されます。当財団は、この山武市「百年後芸術祭」で百年後の未来を考える取り組みに賛同し、今後も豊かな自然を次代に引き継ぐため、植樹や清掃をはじめとする環境活動に、積極的に取り組んでまいります。

※1 地球の環境保護への支援を示すための毎年恒例のイベント。初めて行われたのは1970年4月22日世界中で幅広い種類のイベントが開催され193カ国以上で10億人以上の人が参加しています。

記

| | |
|------|--|
| 日時 | 2024年4月22日（月）8：00～16：30 |
| 場所 | 千葉県山武市 百年後芸術祭会場 蓮沼海浜公園 |
| 参加者 | ボランティア 約40名 |
| 主催 | 公益財団法人イオン環境財団 |
| 協力 | 山武市、百年後芸術祭実行委員会 |
| 関連情報 | 千葉県誕生150周年記念ホームページ（千葉県） https://www.pref.chiba.lg.jp/bunshin/chiba150th/index.html 山武市百年後芸術祭 https://100nengo-art-fes.jp/sammu/ |



九十九里イオンの森



2022年九十九里植樹活動

以上

【本件に関するお問合せ先】
公益財団法人イオン環境財団

天野・菅原

TEL：043-212-6022

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社 名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。

以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「助成」「環境教育・パートナーシップ」「顕彰」の4つの事業活動を中心に、活動に取り組んでおります。今後は持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組みます。

(当財団ホームページ <http://www.aeon.info/ef/>)

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。

当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、1991年のスタートから数えて約1,268万本（2024年2月末時点）となります。

【千葉県における森づくり】

| 植樹時期 植樹名 | 植樹本数 (樹種) | 内容 |
|---------------------------|--|--|
| 2012年～2015年 浦安市植樹 | 19,800本 (ヤマモモ・ウラジロガシ・タブノキ・スダジイ他) | 東日本大震災時の液状化で噴出した土砂の処理が深刻な課題となっていたことを受け、この土砂を土壌の盛土として活用する植樹活動を実施しました。4年間の活動を通じ、延べ2,300名のボランティアの皆さまと植樹しました。 |
| 2016年～2018年 千葉市植樹 | 25,000本 (クヌギ・コナラ・ガマズミ・サクラ他) | 千葉市と「千葉市における森林整備」を締結し、3年計画で植樹を行いました。1回目は、「千葉市富田都市農業交流センター」で、第2回・第3回は、森林・草原・水辺など多様な自然環境のなかで多くの野鳥を観察でき、日本のさくら名所百選に選定されている「泉自然公園」で、延べ3,000名で植樹しました。 |
| 2019年～2022年 九十九里浜植樹 | 17,000本 (抵抗性クロマツ・マサキ・トベラ・アキグミ他) | 松くい虫被害や湿地化により疎林化が進み、また東日本大震災では津波被害にも遭った千葉県九十九里浜地区の海岸県有保安林において、災害にも強い海岸防災林の再生を目指し、千葉県「法人の森事業」に賛同し植樹を行っています。2022年までに、延べ1,200名のボランティアの皆さまと植樹しました。 |
| 2020年～ 君津イオンの森づくり | 7,400本 (ミツバツツジ・コナラ・ケヤキ・ヤマザクラ・イロハモミジ他) | 2020年12月に林野庁の「モデルプロジェクトの森における森づくり活動」について、林野庁関東森林管理局ならびに君津市と覚書を締結しました。この覚書に基づき君津市戸崎の国有林伐採跡地に、2021年4月より3年計画の植樹を実施しています。2023年までに、のべ1,460名のボランティアで7,440本植樹しています。 |
| 2022年～ 千葉市動物公園整備ボランティア | | 2022年6月より4回にわたり、千葉市動物公園において、ボランティアによる公園内の整備を実施しています。昨年2023年7月には、千葉市と当財団との「千葉市動物公園における生物多様性に関する連携協定」を締結しました。 |

【環境活動への助成】

豊かな自然を守り、持続可能な社会の実現のために取り組んでいる、国内外の非営利活動団体を対象に、活動費の一部を助成しています。これまでの32回で累計3,333団体に対し総額30億2,961万円を助成いたしました。千葉県では、累計181件、1億2,747万円を助成しています。